

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003098	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内堀 洋		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内堀 洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内堀 洋		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科機械工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室 / Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL / Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー / Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003099	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	横井 裕一 / Yokoi Yuichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	横井 裕一 / Yokoi Yuichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	横井 裕一 / Yokoi Yuichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科電気電子工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室 / Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL / Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー / Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	電気電子工学入門（対面）
第3回	電気電子工学入門（対面）
第4回	電気電子工学入門（対面）
第5回	情報セキュリティに関する講義（対面）
第6回	図書館ガイダンス（対面）
第7回	ポートフォリオ作成（対面）
第8回	ラーニングティップス，ロジカルライティング（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	著作権
第11回	生成AIの概念と応用（対面）
第12回	社会におけるデータ・AI等の活用事例
第13回	グループ研究テーマに関するプレゼンテーション資料作成
第14回	グループ研究テーマプレゼンテーション，ディスカッション（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原田 晃 / Harada Akira, 永井 弘人 / Nagai Hiroto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原田 晃 / Harada Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原田 晃 / Harada Akira, 永井 弘人 / Nagai Hiroto		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科構造工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室 / Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL / Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー / Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	蒋 宇静 / Jiang Yujing		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	蒋 宇静 / Jiang Yujing		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	蒋 宇静 / Jiang Yujing		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科社会環境デザイン工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jiang▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館308号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2612		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5時限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥松 俊博 / Okumatsu Toshihiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥松 俊博 / Okumatsu Toshihiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥松 俊博 / Okumatsu Toshihiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科社会環境デザイン工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自主的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	瀬戸 心太 / Seto Shinta		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	瀬戸 心太 / Seto Shinta		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	瀬戸 心太 / Seto Shinta		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科社会環境デザイン工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	瀬戸心太／国立研究開発法人情報通信研究機構での研究業務経験／センシング技術の研究開発経験を活かして、地球規模の水循環システムについて、実際のデータを用いて説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	杉本 知史 / Sugimoto Satoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	杉本 知史 / Sugimoto Satoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	杉本 知史 / Sugimoto Satoshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科社会環境デザイン工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30% (課題探求のための計画の妥当性、予習など) ・ディスカッションへの積極的参加 30% (発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど) ・プレゼンテーション 20% (ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど) ・レポート 20% (レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど)
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介(対面)
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス(対面)
第3回	著作権について(対面)
第4回	生成AIの概念と応用(対面)
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例(対面)
第6回	個人発表、発表指導(対面)
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション(対面)
第10回	プレゼンテーションに関する指導(対面)
第11回	プレゼンテーション資料の作成(対面)
第12回	プレゼンテーションの練習(対面)
第13回	プレゼンテーション大会予選(各クラスから1チームを選出)(対面)
第14回	プレゼンテーション大会決勝(各クラスから選ばれた15チームによる決勝)(対面)
第15回	レポート作成に関する指導(対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030A6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(工学) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部工学科化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者(研究者)としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP- の " 自ら学び、考え、主張し、行動することができる " に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介（対面）
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス（対面）
第3回	著作権について（対面）
第4回	生成AIの概念と応用（対面）
第5回	社会におけるデータ・AIなどの活用事例（対面）
第6回	個人発表、発表指導（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション（対面）
第10回	プレゼンテーションに関する指導（対面）
第11回	プレゼンテーション資料の作成（対面）
第12回	プレゼンテーションの練習（対面）
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）（対面）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）（対面）
第15回	レポート作成に関する指導（対面）